

【綾町】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合(%)

令和6年12月に、本町の2校で簡易ネットワーク調査を実施した。その結果、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」(文部科学省・令和6年4月)を満たす学校はなく、総学校数2校に占める割合は0%であった。また、「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」(文部科学省・令和5年11月実施)では、「ネットワークが遅いと感じることがあるか」という設問に対し、「よくある」と回答した学校が1校であった。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和6年12月に、本町の2校で簡易ネットワーク調査を実施した。

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

この令和6年12月に実施した調査は、学校ネットワークの入り口に設置したルーターに有線LANケーブルを接続して速度調査を行った。結果、2校とも100Mbps~170Mbpsで推移する値であった。2校とも「学校規模ごとの当面の推奨帯域」(文部科学省・令和6年4月)は満たしてはいないが、この2校では教育専用帯域を確保したサービスのプロバイダーを採用している。このプロバイダーはIPv6プラスを利用しており、またセッション数の制限のないサービスであり、端末が同時接続する際も安定した通信環境を実現できている。

「ネットワークが遅いと感じることがあるか」という設問に対する「よくある」、「たまにある」との回答については、ネットワークの速度に起因する現象ではないと現段階では判断している。各学校でのヒアリングとその後の現地調査を行ったところ、再現性は見られなかった。原因としては、各端末でWindowsアップデートがバックグラウンドで動作していたことや起動直後の早急な端末操作が要因であると考えられる。

(3) ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

本町の2校では、令和2年度にGIGAスクール端末を導入する際、ネットワーク構成に基づき、通信のボトルネックとなる可能性のある箇所にはカテゴリ6AのLANケーブルを敷設し、ネットワーク負荷を軽減する構成とした。

無線アクセスポイントについては、40台の端末が同時にアクセスしても安定して動作する高性能な機種を導入しており、授業で使用するすべての教室に設置されている。また、その他のネットワーク機器も全てGIGAスクール対応の高性能機種で整備している。